

スターシップとは 完全再使用への挑戦

SpaceXが開発する全高124mの2段式ロケット。両段を回収して再び飛ばす完全再使用を目指し、2026年10月時点では試験飛行の段階にあります。

すべての段を何度も飛ばせるようになったら、
宇宙への行き来はどう変わるんだろう？



再使用の考え方を3段階で整理

STEP 01

第1段の回収・再使用

ファルコン9ですでに実施。上段は使い捨て



STEP 02

上段まで回収する設計

両段とも発射場へ戻り、塔で捕まえる設計



STEP 03

宇宙空間で推進剤を補給

地球低軌道で補給し、月や火星へ向かう計画

設計と計画のうち、試験で確かめられたのは**まだ一部**

統合飛行試験の主な歩み

01

第3回（2024年3月） FLIGHT 3

宇宙船の機体内にある2つのタンク間で推進剤を移す実証

02

第4回（2024年6月） FLIGHT 4

宇宙船とブースターが初めて制御された着水・着陸に成功

03

第5回（2024年10月） FLIGHT 5

発射台の塔の腕でブースターを捕まえることに成功

04

第7～9回（2025年1～5月） FLIGHT 7-9

いずれも宇宙船を失う事故で終了

05

第14回（2026年9月28日） FLIGHT 14

報道によると、初めて地球を回る軌道に到達

初の軌道到達

月面着陸の時期がまだ見通せない理由

機体どうしの大規模な推進剤移送試験の遅れ

12 か月

2025年3月の予定から2026年3月へ（OIG報告）

- 新しい技術
宇宙で極低温の推進剤を機体どうしで移したことはまだない
- 発射台の再整備
補給に欠かせない12～24日での再整備は未実証

月面着陸は**2028年のアルテミスIV**で行う見通し

まとめ | スターシップのいま

- 01 下段72m＋上段52m、全高124mの2段式ロケット
- 02 第14回試験飛行で初めて地球周回軌道に到達（報道）
- 03 完全再使用と機体どうしの推進剤補給はまだ実証前

次の節目は、宇宙での推進剤の受け渡し。
試験の積み重ねを見守っていこう

推進剤を宇宙で受け渡せたら、
月への道はどこまで近づくんだろ
う？

